

Special Article 2

ACC/AHA 脂質管理ガイドラインの 特徴と問題点 —わが国での見解も含めて—

2013年11月に American College of Cardiology(ACC)/American Heart Association(AHA)脂質管理ガイドラインが発表された。本ガイドラインは、それまでの米国における脂質管理ガイドラインとされてきた一連の National Cholesterol Education Program-Adult Treatment Panel (NCEP ATP)とは大きく方向性が異なっており、発表以降、米国のみならず欧州や日本でもさまざまな議論がなされてきた。そのようななかで、2014年11月にエゼチミブのスタチンへの追加投与の有用性に関する新たな脂質管理のエビデンスが示され、本ガイドラインのあり方を見直すべき時期を迎えつつある。そこで今回、国立長寿医療研究センター副院長・荒井秀典先生に、ACC/AHA 脂質管理ガイドラインの概要について改めてご解説いただき、本ガイドラインに対する日本動脈硬化学会(JAS)の見解についてもご紹介いただいた。

国立長寿医療研究センター副院長

荒井 秀典

SAMPLE